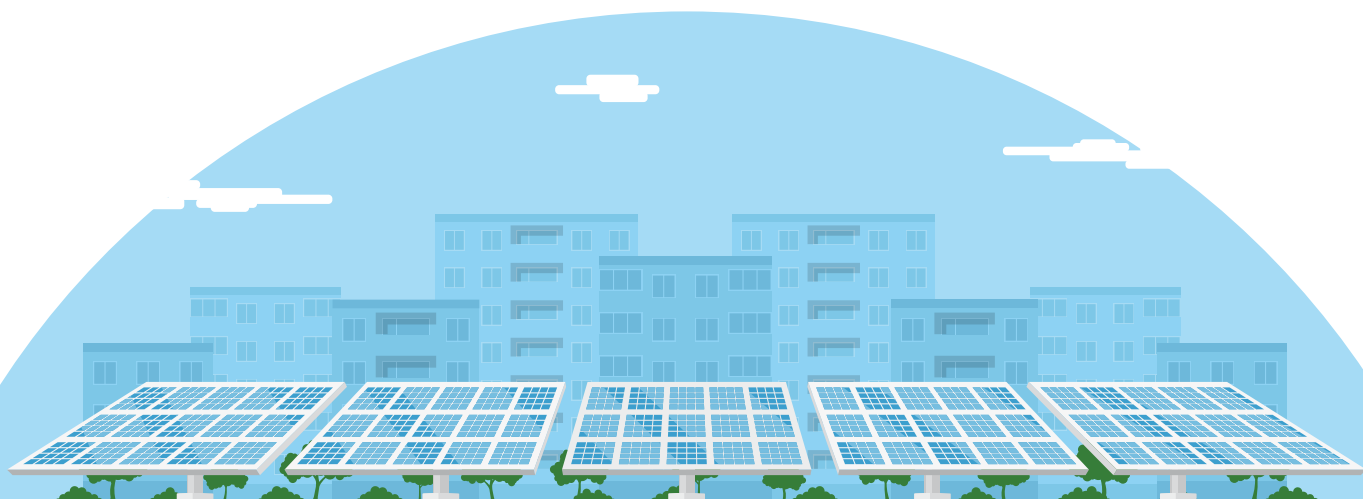
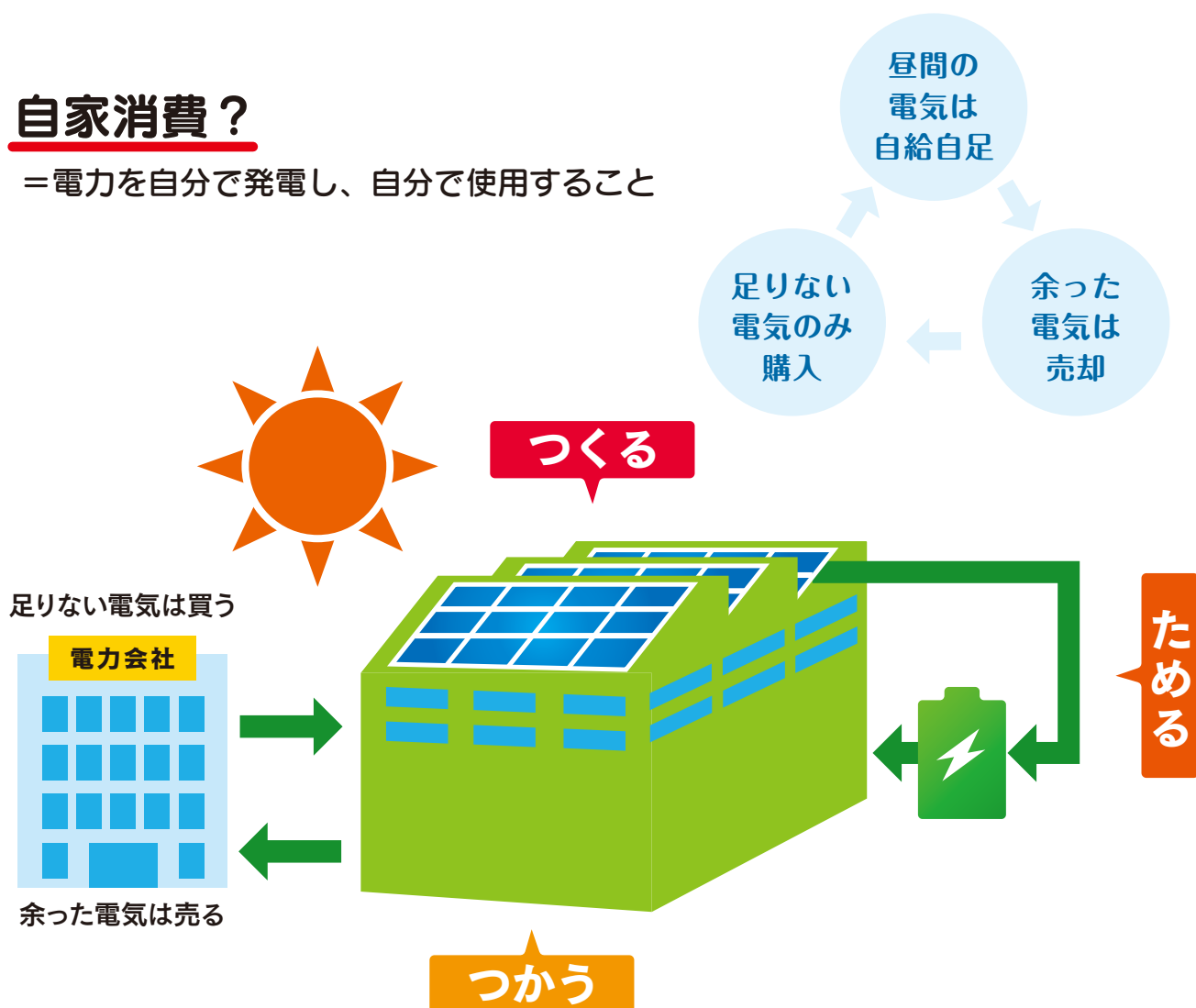


電気を自分で作り、自分で使う自家消費時代へ

自家消費型太陽光発電 システムのご案内

自家消費？

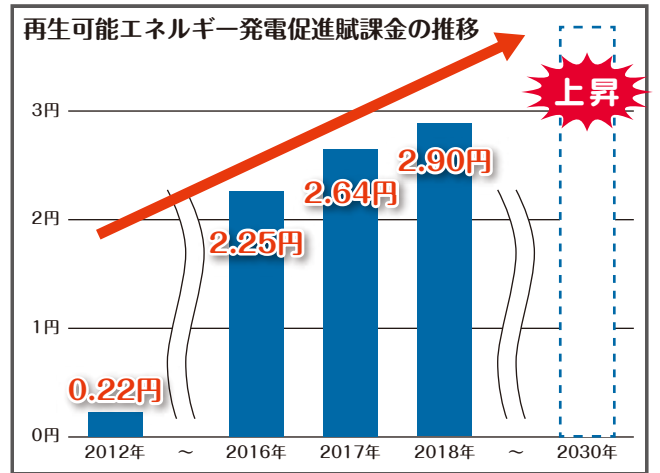
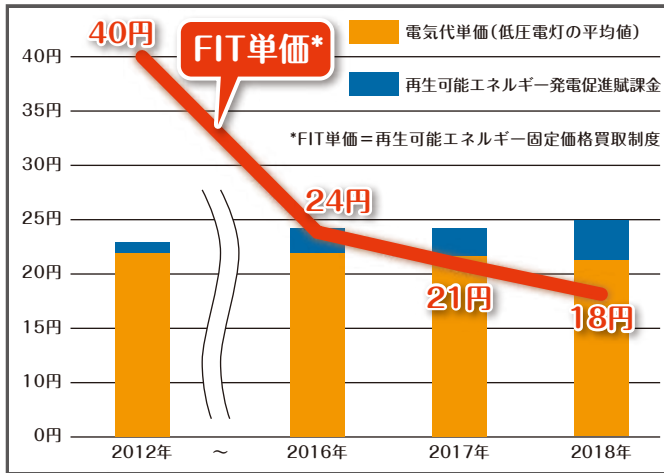
=電気を自分で発電し、自分で使用すること



電気を「作る」そして「使う」 自家消費のメリットについて

1 電気料金等のコスト削減

電気を電力会社から購入せず、太陽光発電設備で発生した電力を自家消費として使用することで、電気料金を大幅に削減できる
(電力会社の電気料金は2030年度まで上昇する可能性がある)

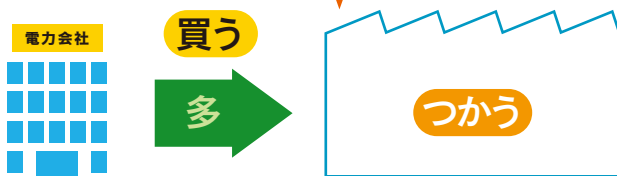


**FIT料金と電気料金が逆転！
売電よりも自家消費がお得に！**

**電気料金に加算され、料金上昇…
自家消費することで節約に！**

自家消費なら…

【従来】
電気を買って使うのみ
購入費用 = 高



【自家消費】
電気をつくってつかう
購入費用 = 安



【従来】



【自家消費】



20~50%前後
カバーできる！
施設により70%も可能
※モデルケースでの試算

**自給率UP!!
電気料金の削減**

電気消費量の大きい工場などでは
大きなコストダウンが見込める

2 優遇税制補助金制度

▶ 優遇税制

自家消費型太陽光発電設備は償却資産なので、償却期間中に損金算入された減価償却額に応じた節税ができる（詳しくは下記参照）
即時償却、もしくは税額控除が可能



例) 中小企業等経営強化法

- QRコードを読み取り、サイトを表示
- 2.概要資料等の 2-1.手引き等 をチェック

※期間中の余剰売電量が、発電量の1/2を超える場合は適用除外になります
詳細は税理士等へお問い合わせください

▶ 補助金制度

設置の際にさまざまな補助金が国から出されている（詳しくは下記参照）



例) 再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業

- QRコードを読み取り、サイトを表示
- 2.気候変動対策の(2)技術・社会システムのイノベーションをリードする対策・施策・枠組みにある再生可能エネルギー電気・熱自立的普及促進事業をクリック

※余剰の場合は適用除外になります
詳細は税理士等へお問い合わせください



例) 二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

- QRコードを読み取り、サイトを表示
 - 対象年度の20XX年度(XX年度)二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業)に係る補助事業者(執行団体)の募集をクリック
 - 公募書類をチェック
- 対象：災害時の避難場所に指定されている場合

3 FIT余剰売電収入

施設等で電気を使用していない時や余った電気は売ることができる
FIT余剰売電で調達期間に渡って安定収入を得ることができる
(蓄電池をオプションで設置すると、未使用の電気を貯めて後で使用できる)
※余剰の場合、「2 優遇税制補助金制度」に関しては適用除外になります



2019年度 余剰売電単価(税別)

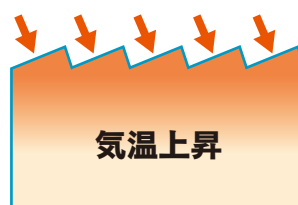
10kw未満	出力制御あり @26円 出力制御なし @24円 調達期間 10年
10kw以上 500kw未満	@14円 調達期間 20年

4 室温の最適化

太陽光発電設備を設置した場合
夏期は遮熱、室温を最大 -10℃
冬期は保温、室温を最大 +5℃
の効果を発揮します

冷暖房費の削減が可能！

夏期



太陽光発電設備 未設置



太陽光発電設備 設置済

5 非常用電源としての活用

もしもの災害や停電時に、蓄電池を設置していることにより非常用電源としての活用が可能

停電・災害時でも…

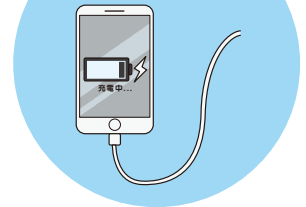
放送設備なども使えるので、避難誘導や連絡ができます。



テレビが見られるので、ニュースなどで状況を確認できます。



携帯電話などの充電ができるので、安否確認などができます。

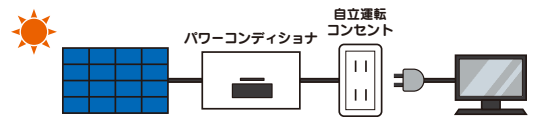


停電時のバックアップ

1 太陽光発電システム

日中は「パワーコンディショナ」*の自立運転コンセントから電気を使用することができます。

※自立運転機能付きパワーコンディショナ選定の場合

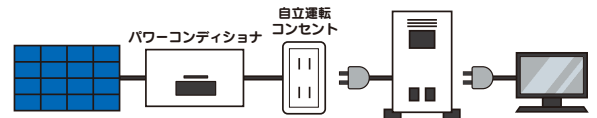


2 太陽光発電システム + 蓄電システム

夜間も、蓄電システム前面のAC出力コンセントに電気機器のプラグを差すことで、事前に充電した電気を使用することができます。

蓄電池の残量がなくなった場合、電気は使用できなくなります。

※停電時の日中に限り、蓄電システムのAC入力プラグを系統電源からパワーコンディショナの自立運転コンセントに差し替えることにより、太陽光発電システムから充電することが可能です。



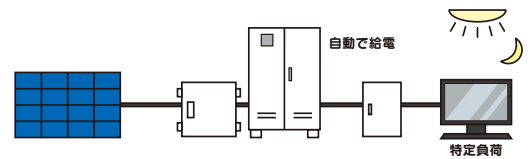
3 太陽光発電システム + 蓄電システム

あらかじめ接続している特定負荷に自動で電気を供給します。

太陽光で発電した電気を蓄電システムに充電でき、長期の停電にも対応できます。

※一部限定された設備のみ使用可能

例) 蓄電容量6.5kwの場合、下記家電がフル充電で約19時間使用できる



冷蔵庫：50~100W	テレビ：100~150W	照明：50~100W	携帯電話充電：5W	合計：300W
-------------	--------------	------------	-----------	---------

ご相談・お見積・シミュレーションすべて無償にてやらせていただきます
ご用命の際は下記までご連絡ください

※30分電力量明細の照会をお願い致します（委任状に捺印いただければ代理で取得可能です）

技術パートナー： Loop

お問い合わせ・ご用命は弊社まで

株式会社 ヒグチ電機
Higuchi Electricity co.,Ltd

〒360-0012 埼玉県熊谷市上之 3849-4
TEL: 048-523-1211 / FAX: 048-527-4692
E-mail: info@higuden.co.jp / URL: http://www.higuden.co.jp
担当者：田島、石坂